

【防災情報】大雨に伴う
防災情報（第54報）

秋田河川国道事務所管内では、大雨の影響により災害対策支部（非常体制）を設置しております。

平成23年6月22日16時から降り続いた前線性豪雨により、子吉川では計画高水位を越えるなど観測史上最高の水位となり、中流部の各所で堤防から越水氾濫しました。

これにより、子吉川支川石沢川左岸0.0km付近（由利本荘市鮎瀬地先）では、平成23年6月24日6時33分に堤防が延長約150mにわたり決壊しました。このため、今後の出水により浸水を防止するため、堤防復旧に着手しておりましたが、**仮堤防の施工が完了**しましたのでお知らせします。

今後は本復旧（石沢川の堤防）に取りかかって参ります。

※詳細は別紙資料参照

また、湯ノ沢川合流点付近（由利本荘市荒町地先）で堤防が崩落していた箇所においても、堤防の復旧が完了しております。

なお、仮堤防が完了したことから、**事務所の体制を非常体制から警戒体制に移行します**が、今後も引き続き河川情報に注意して下さい。

1. 水位情報（30日14:00現在）

【子吉川】・明法水位観測所：-0.02m

＜水防団待機水位1.50m、はん濫注意水位2.20m、避難判断水位4.20m、はん濫危険水位4.50m＞

・二十六木水位観測所：0.73m

＜水防団待機水位3.30m、はん濫注意水位4.00m、避難判断水位5.60m、はん濫危険水位5.80m＞

【石沢川】・鮎瀬水位観測所：0.38m

＜水防団待機水位2.50m、はん濫注意水位3.40m、避難判断水位4.20m＞

【雄物川下流】・椿川水位観測所：3.36m

＜水防団待機水位5.60m、はん濫注意水位6.60m、避難判断水位8.00m、はん濫危険水位8.20m＞

2. 事務所の体制

【河川】 平成23年6月23日 23時50分 注意体制
平成23年6月24日 1時20分 警戒体制
平成23年6月24日 4時20分 非常体制
平成23年6月30日 14時00分 警戒体制

3. 所管施設の被災状況

【河川施設】・子吉川左岸 由利本荘市黒沢地内 堤防越水（L=20m）
・子吉川左岸 由利本荘市森子地内 堤防越水（L=1,000m）
・子吉川と石沢川合流点付近（石沢川） 決壊（約L=150m）

30日14時00分応急復旧完了、引き続き本復旧に着手しています。

4. その他

・今後も引き続き、防災情報に注意願います。

〈記者発表先：秋田県政記者会〉

問い合わせ先

国土交通省 東北地方整備局 秋田河川国道事務所
TEL 018-823-4167（事務所代表）
副所長（河川担当） 高橋 淳（内線204）

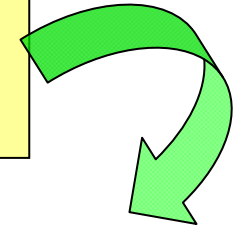
子吉川支川石沢川の災害復旧について



第1ステップ(仮堤防の設置)

—6月25日に着手し、
6月30日完了—
破堤箇所の締切り(仮堤防)を行い、今後の出水による浸水を防
止する緊急的な対策を実施
(対策)

- ・破堤箇所の拡大防止対策
- ・仮堤防の設置



第2ステップ(堤防の復旧)

—仮堤防完了後、速やかに
本復旧に着手—
被災前と同等の堤防機能(断面
と強さ等)を確保する対策を実施
(対策)

- ・堤防復旧
- ・堤防護岸の設置



子吉川支川石沢川の災害復旧について

第1ステップ 仮堤防の設置

(H23/6/25 8:00に現地着手)

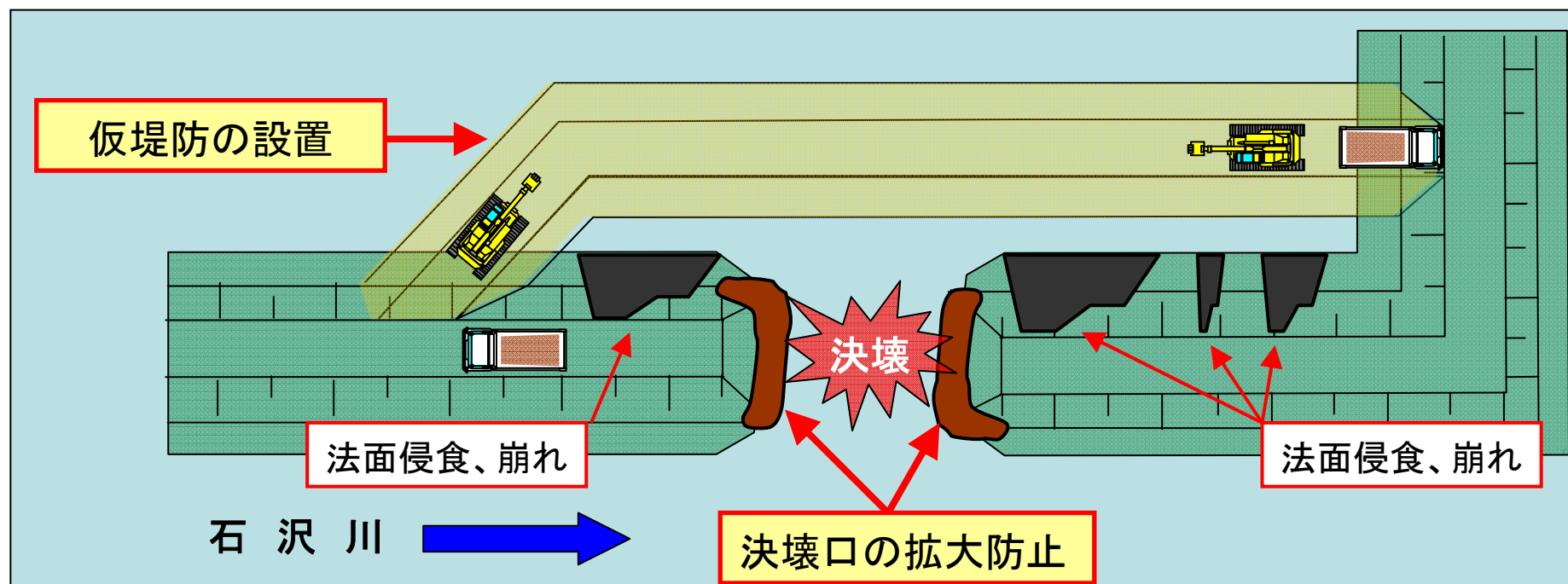
●整備内容

- ・仮堤防の設置 L=約150m
- ・決壊口の拡大防止対策 上・下流

H23.6.25 着手前の状況



H23.6.30 14時現在の状況

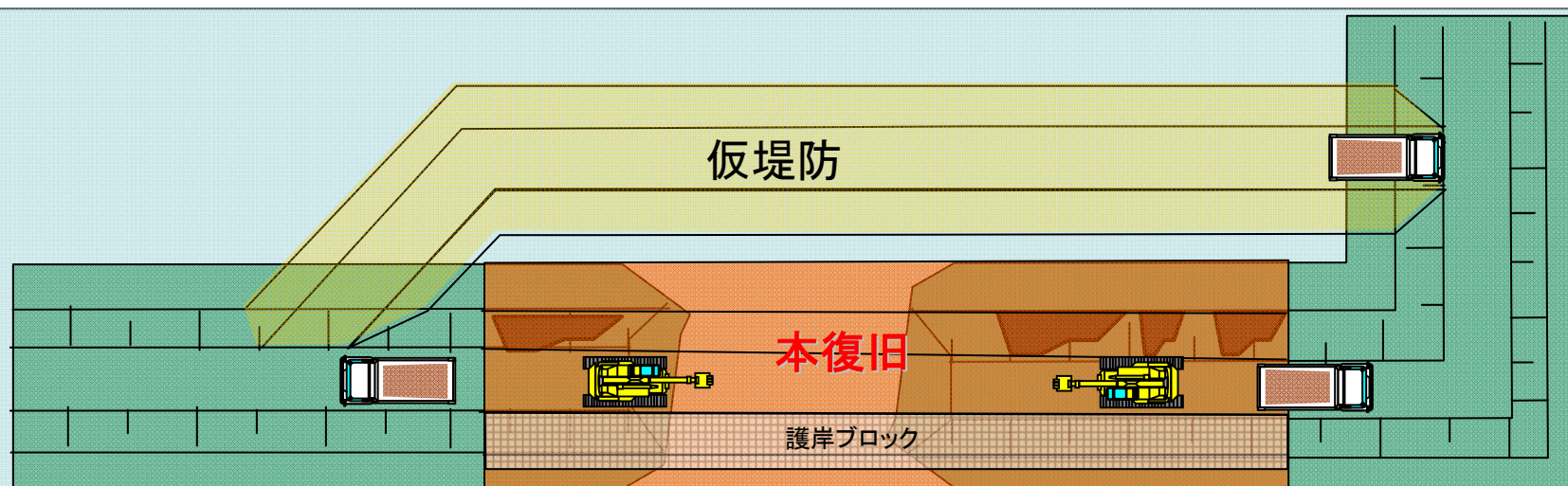
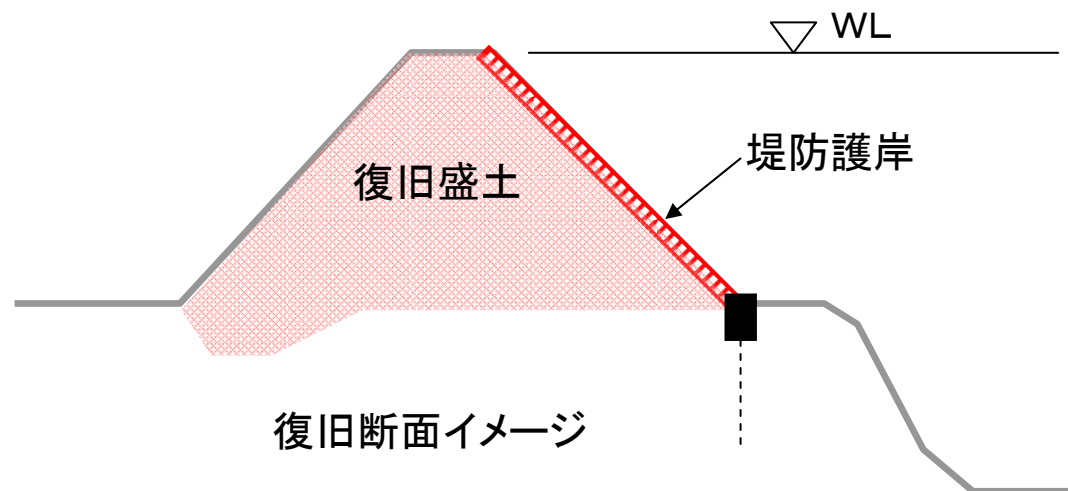


子吉川支川石沢川の災害復旧について

第2ステップ (堤防の復旧)

●整備内容

- ・堤防の復旧 L=約150m
- ・堤防護岸の設置 L=約150m



石沢川

- 堤防決壊の拡大防止のため投入した岩砕を撤去後、決壊した堤防の本復旧盛土を実施